



# 亀っ子だより

第8号

— 亀崎小学校 校長通信 — 2019年7月19日

## 終業式 校長の話

いよいよ明日から夏休みが始まります。夏休みが始まるにあたり、この夏休みにみなさんが力を伸ばしていくことができるように、私から宿題を出します。それは、先日の朝会で話をしたように、この夏休みも礼儀正しさを忘れないという宿題です。夏休みは、誰もがたくさんの人に関わることと思います。その人たちに、何かしてもらうときに「お願いします」と言い、何かしてもらったときには「ありがとうございます」と言い、挨拶を大きな声で言うことが宿題です。運動や習いごとをしている人は、夏休みに練習に参加したり習い事に通ったりすることでしょう。そして、夏休みにその力を伸ばしたいと思っていることでしょう。練習に参加したり習い事に行ったりした時、みなさんが礼儀正しく振る舞うことができると、みなさんはいっぱい力を伸ばすことができます。なぜなら、礼儀正しさは心の強さにつながります。苦しくてもあきらめない、うまくいなくても投げ出さない、教わったことを何とか身につけようと思いつけるためには、心の強さが必要です。その心の強さを培ってくれるのが礼儀正しさだからです。運動や習いごとをしていない人も、夏休みの宿題をしたり、自由研究に取り組んだりする中で力を伸ばすために、礼儀正しさを忘れずに生活してほしいと思います。そして、一番大切なお家の人に対しても「お願いします」「ありがとうございます」そして挨拶をしてほしいと思います。夏休みは給食がありません。みなさんのお昼ご飯を作るのに、お家の人は大変です。みなさんをどこかに連れて行くのも大変です。お昼ご飯を食べることも、旅行に行くことも当たり前なことではなく、ありがたいという気持ちを大切にしてほしいと思っています。当たり前が増えると、ありがたが減るのです。みなさんがこの夏休み礼儀正しさを身につけると、夏休みも2学期もみなさんのできることがたくさん増え、勉強することも、運動することも、遊ぶことも、今よりずっと楽しくなります。夏休み中、礼儀正しさを忘れずに過ごしてください。

そして、最後にもう一つ、一番大切な宿題を出しておきます。それは、亀崎小のみなさんが大きなけがをすることなく、大きな病気をすることなく、そして決して交通事故に遭うことなく、9月2日の始業式、元気に先生方と校長先生と体育館で会うことです。校長先生からの宿題を忘れず、健康で楽しい夏休みにしてください。

## 夏休み中の学校閉校について

夏休み中の学校閉校について、半田市教育委員会からの通知をお知らせします。  
(再掲)

- 1 学校を閉校する期間 令和元年8月13日(火)～16日(金)の4日間
- 2 学校閉校期間中の対応
  - (1) 緊急を要する場合 半田市教育委員会学校教育課へご連絡ください。  
TEL 0569-84-0688
  - (2) 緊急を要しない場合 学校閉校期間終了後に学校に連絡してください。  
ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

## いつの間にかしてあることをうれしく思いました

少し前の話ですが、その夜、低気圧が台風になるとの予報（令和初の台風発生と報道されていました）を受け、台風対策をしなければならない時がありました。昨年度の台風の時、シャッターの下から雨が吹き込み、廊下が水浸しになったことがあって、シャッターを閉めるときにシャッターと地面（廊下）の間に雑巾を挟みましようということになりました。戸締まりをするときにお願いすればいいかと思っておりましたが、帰りの会が終わると高学年の子どもたちがやってきて、シャッターが降りる場所に雑巾を並べてくれました。また、渡り廊下に並べてあるエイトチェッカー（土足と上靴とが重なる場所に置くもの）も、風で飛ばないようにと全部取り外して、廊下においてありました。これなら今夜、台風が来ても大丈夫という状況を子どもたちが作ってくれました。次の日の朝、シャッターが開く前に廊下を見に行くと、雨水が吹き込まれることなく、廊下は無事でした。朝、交通指導から帰ってくると、雑巾は片付けられ、エイトチェッカーはきれいに並べてありました。子どもたちが行ってくれたのか、先生が行ってくれたのかは分かりませんが、とにかくありがたく思いました。指示を出さなくても、気がついて考えて動いてくれる子どもたちと先生方が、亀崎小の宝物だと思いました。

## ♣ 子育てアラカルト ♣

### 【自尊心をはぐくむ】

子育てで一番意識しなければならないものの一つは自尊心だ。

ところが、自尊心は自分では身につけることはできない。

「自尊心が大切だから、しっかり身につけるのよ」と子どもに言っても効果はない。なぜなら、自尊心や自己肯定感は、周りの人（親）が身につけさせるものだからだ。なにに、そんなに難しくない。次の言葉を口癖にすることだ。

【心に刻む言葉】 ①「大好きだよ」 ②「あなたのいいところはね・・・」

口ぐせにするとは、毎日、繰り返し、繰り返し言うことだ。

「繰り返す」ことが大切だ。きのうも聞いた。今日も聞いた。明日も聞くだらう。…これが親子の間に得も言われぬ独特の雰囲気醸し出す。

あなたが言う「大好きだよ」の一言によって、子どもの心が安定する。やる気生まれる。それが子ども自身を教育していくのだ。

### 【エピソード】

幼稚園で園長をしていたときのこと。園庭の隅で子どもたちが元気に遊ぶ様子を見ていた。一人の男の子が私のところへ走ってくるなりこう言った。

「園長先生！ボクのお父さんとお母さん、ボクのことを大好きって言うよ。ボク大きくなったらライフセーバーになるんだ。」

私の園長通信を読んだり、話を聞いたりしてくれていたのだらう。しかも両親で。折に触れて「大好きだよ」を連発していたに違いない。だからこんなことが言える子に育ったのだ。

（ある教育者のひとり言 より）